

# TOTO

## 洗面化粧台

LDZA075・090・100・120型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

### 1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。		●は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------	--	------------------------

● 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

**警告**

**浴室など湿気の多い場所へ設置しない**  
漏電により感電するおそれがあります。

禁止

**水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う**  
火災や感電および水漏れの原因になります。

必ず実行

**警告**

**電源はAC100Vを使用する**  
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

必ず実行

AC 100Vのみ!

**壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**  
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

必ず実行

13mm以下  
木さん

**注意**

**湯・水を逆に配管しない**  
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

禁止

**浴室など湿気の多い場所へ設置しない**  
木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。

禁止

**洗面ボウルにかたい物を落とさない**  
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

禁止

**洗面ボウルに熱湯を注がない**  
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

禁止

**洗面ボウルに強い力や衝撃を与えない**  
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

禁止

**注意**

**凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う**  
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

**取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**  
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

**取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する**  
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

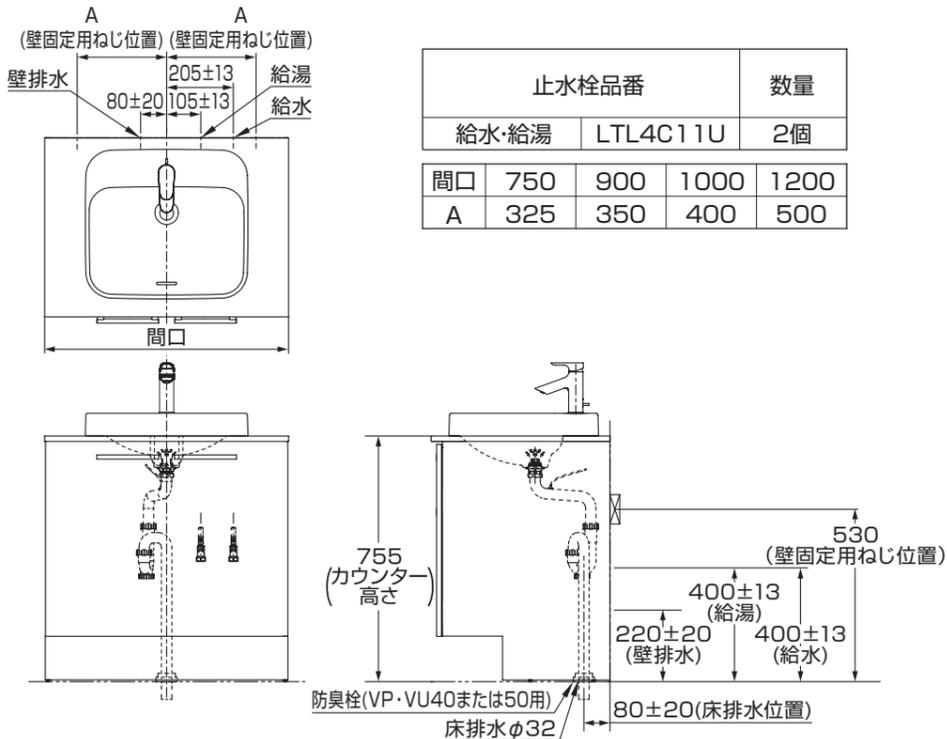
**組立・設置や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないよう注意する**  
金属類が陶器表面をこすり、すじ状の跡がつく原因になります。

必ず実行

### 2) 設置寸法

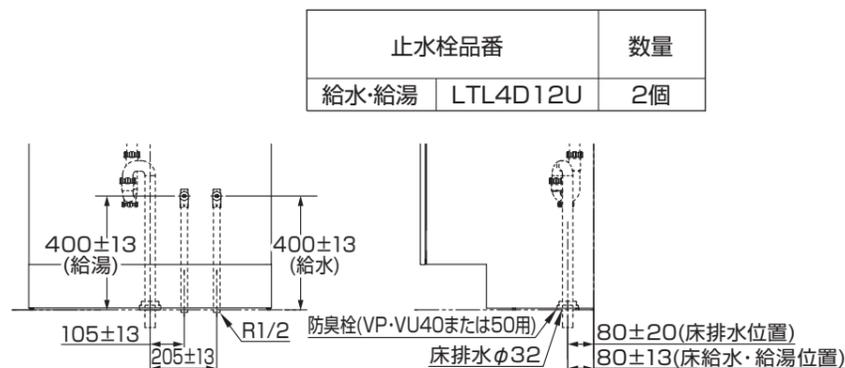
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL0159をご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

#### 【壁給水の場合】



#### 【床給水・樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。



### 3) 付属部品明細

名称	数量
1 排水金具	1セット
2 機能部 (クランク管) ユニット	1セット
3 排水トラップ	1セット
4 給水ふた	2個
5 排水ふた	1個

名称	数量
6 防臭栓	1個
7 壁固定用ねじ (φ5.2×55)	3本
8 底板化粧用ねじ (φ3.5×12)	4本
9 クッション材(黒)	1個
10 取扱説明書 セット	1セット

### 4) 使用条件

●水栓金具・機器類の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

### 5) 取り付け条件

●洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。特に壁面については耐水壁、耐水クロスにて仕上げてください。

#### 警告

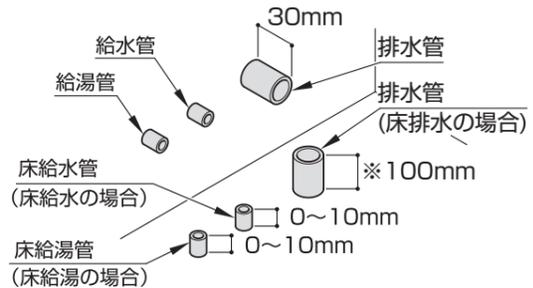


必ず実行

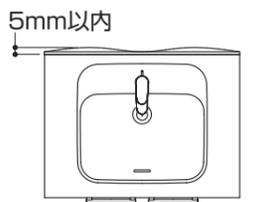
●キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる (木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJIS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)  
※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)  
商品が転倒し、けがをするおそれがあります。

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。  
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)
- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコンシーラ材でシールしてください。



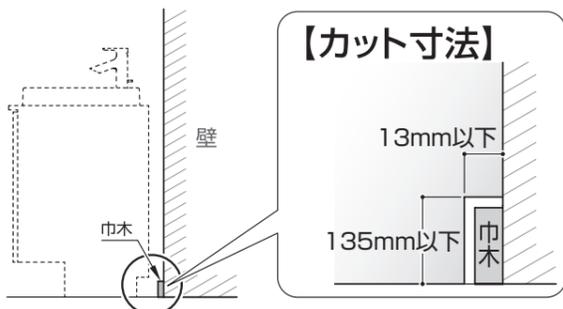
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。  
化粧台取り付け壁面の水平・垂直の精度が出ていること  
壁面の平面度により、建築躯体、壁面への被水、汚損などが生じるおそれがあります。  
カウンター止水パッキン(クッション材)を確実につぶすために平面度は5mm以内におさえてください。



### 6) 洗面化粧台を取り付ける前に

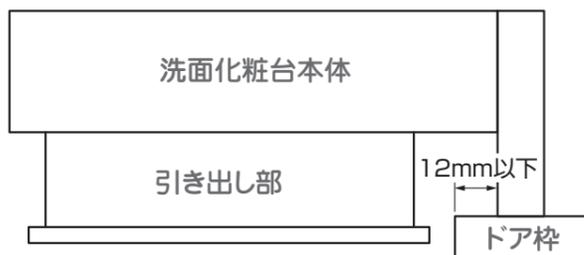
#### 確認1 壁に巾木はありますか?

→壁に巾木がある場合は、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部及び台輪後部をカットできます。



#### 確認2 洗面化粧台はドア枠対応商品ですか?

→ドア枠対応商品の場合、ドア枠の出幅を確認してください。



#### 確認3 魔法びん電気即湯器を取り付けますか?

→取り付ける場合は、裏板を切り欠いてください。

※壁付コンセントの位置を確認した後、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。



→取り付け要領を確認してください。

※取り付け要領は各商品に付属の施工説明書をご参照ください。

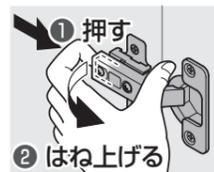
### 7) 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

●化粧台をひきずらないでください。

#### 1 キャビネットの扉・引き出しを外す

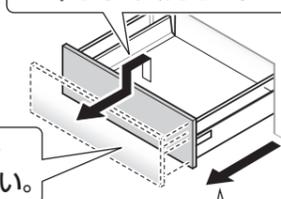
- 取り付け完了後、元に戻してください。
- 下部に取り付けてある転倒防止材は、扉・引き出しを取り外すまで外さないでください。

〈開き扉〉



〈引き出し〉

2 手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろしてください。



3 そのまま引き抜いてください。

1 完全に引き出してください。

#### 注意

●ギャラリバー部分を持たない

●ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



※扉・引き出しを取り外したあとは、ダンボールなどを敷き、置いてください。

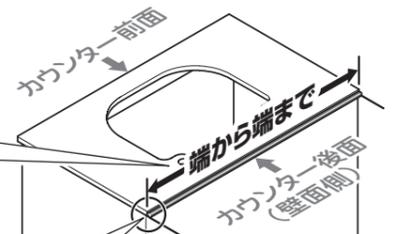
#### 2 給・排水穴の穴あけ

- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。

#### 3 クッション材の貼り付け

- 洗面化粧台を取り付ける前に確実にカウンター後面にクッション材(黒)を貼り付けてください。

カウンター後面の端から端(カウンター間口分)まで貼り付けてください。  
※長さが余ったらカットしてください

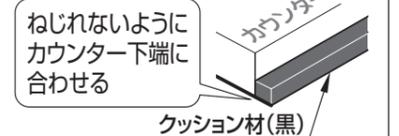


#### 注意



必ず実行

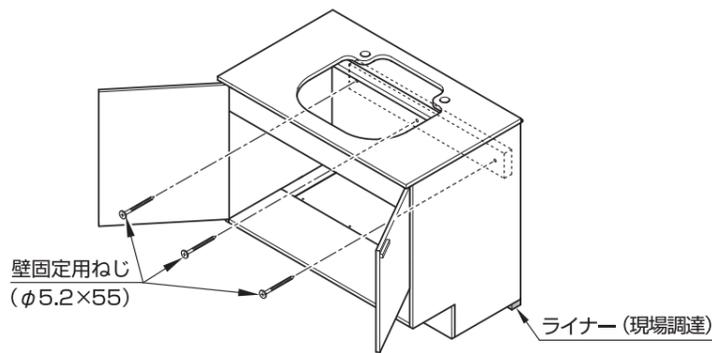
●クッション材(黒)を、必ず取り付ける水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。



# 7) 取り付け手順(つづき)

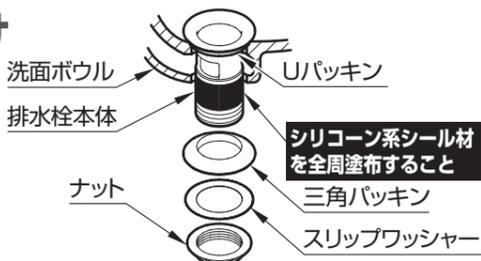
## 4 化粧台の取り付け

- 商品を水平・垂直になるように取り付けてください。  
(床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)
- 付属の壁固定用ねじ(3本)で壁に確実に固定してください。



## 5 排水金具の取り付け

- シリコン系シーラ材(現場調達)を洗面ボウル排水栓本体のねじ部全周に塗布してください。
- 三角パッキン、スリップワッシャー、ナットの順に締め付けてください。

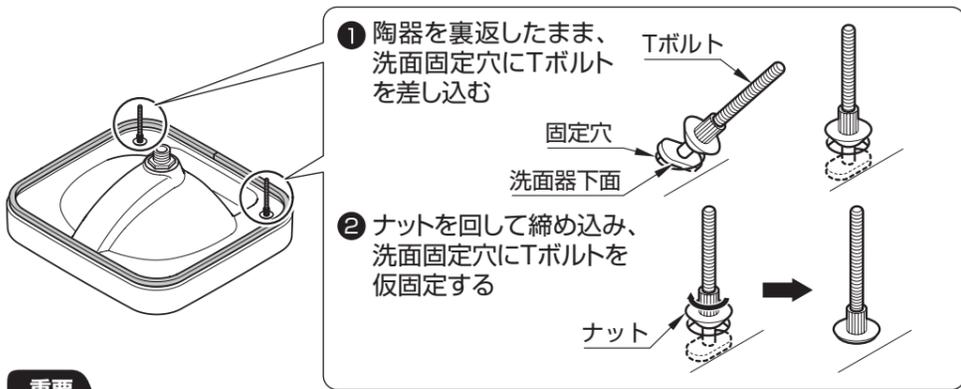


### 注意

- 設置工事に使用する部品は必ず**付属部品および指定部品**を使用する  
正常な取り付けができなくなる可能性があります。
- 三角パッキンの方向**に注意して取り付ける  
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。
- 必ず実行 **ナットは三角パッキンの弾性を失わない程度**に締め付ける  
強く締めすぎると、洗面ボウルが破損してけがをするおそれがあります。
- 排水栓本体のねじ部全周にシリコン系シーラ材**を塗布する  
ねじ部から水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

## 8 Tボルトの取り付け

- ①、②の手順でTボルトを取り付けてください。



### 重要

- ナットの締め付けは、手締めで行う**  
ペンチ・プライヤーなど工具を使用すると、固定穴具や洗面器固定穴が破損し、正常な設置ができず、ガタツキなどが発生するおそれがあります。
- 必ず、ナットが陶器と接触するまで締めこむ**  
取り付けの際に、陶器からはずれてしまうことがあります。
- 必ず、Tボルトが傾いていないことを確認する**  
カウンター取り付け時に、Tボルトがはずれることがあります。

## 9 水栓金具の取り付け

- 水栓金具の取り付け要領は水栓金具の施工説明書をご参照ください。

## 6 洗面器の取り付け準備

- 荷扱いにご注意ください。ベルトのバックルや時計、指輪等で陶器に傷が付きます。  
※もし傷が付いてしまったら、「蛇口まわりのクリーナー(別売品)」をスポンジなどにつけて、こすってください。

### 重要

クッション材、Tボルトなどの取り付けで洗面器上面を下側に向ける際は、段ボールなどを敷き養生を行い、洗面器に傷が付かないようにする



- 同梱部品を確認してください。

名称	洗面器	クッション材	ナット付きTボルト	ワッシャー
数量	1個	1巻	2本	各2個

## 7 クッション材の貼り付け

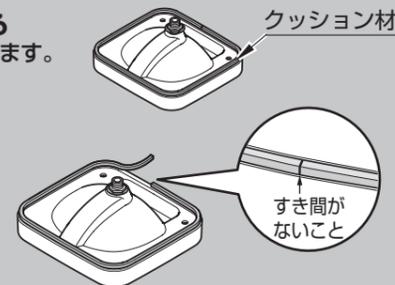
- 貼り付け面の汚れ、ホコリなど十分に拭き取り、クッション材のセパレーターを剥がしながら、洗面器裏面にクッション材を貼り付けてください。

### 重要

洗面器の裏面にクッション材を必ず貼り付ける  
取り付けの際にカウンターに傷が付くおそれがあります。



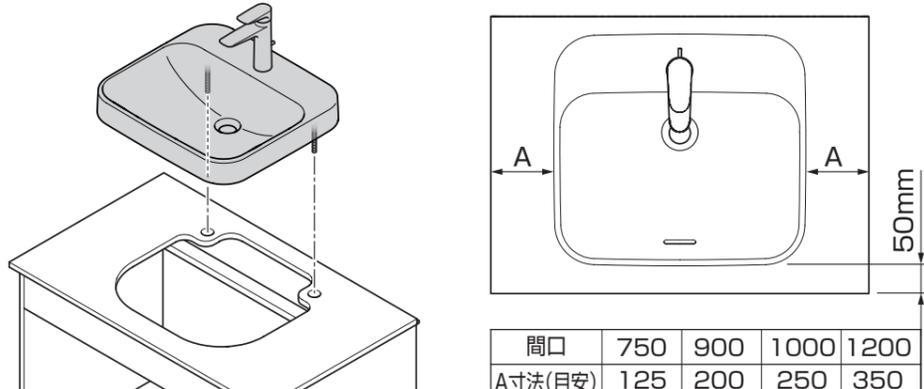
洗面器裏面の内側コーナー部にあわせ貼り付けてください。  
設置後にクッション材がはみ出すことがあります。



クッション材は洗面器後部から貼り付けてください。  
貼り終わり箇所は必ずすき間がないようにしてください。

## 10 洗面器の取り付け

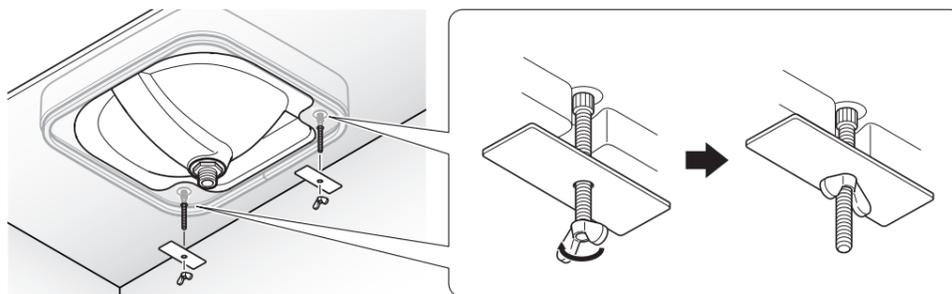
- ① Tボルトをカウンター切り欠きに当て、ゆっくりと洗面器を下ろす



### 重要

必ず、Tボルトの飛び出し位置とカウンターの固定切り欠き部を確認して、カウンターに取り付ける  
取り付けの際にカウンターに傷が付くおそれがあります。

- ② カウンター下面からTボルトにワッシャーを入れ、蝶ナットで締め付ける



### 注意

- 必ず実行 **蝶ナットの締め付けは、手締めで行う**  
ペンチ・プライヤーなど工具を使用すると、固定穴具や洗面器固定穴が破損し、正常な設置ができず、ガタツキなどが発生するおそれがあります。

# 7) 取り付け手順(つづき)

## ① 機能部(クランク管)ユニット・排水栓の取り付け

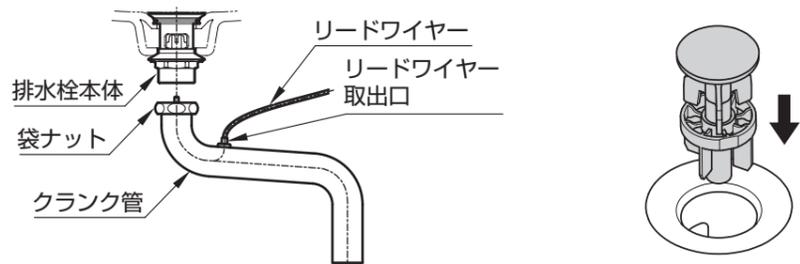
- クランク管のリードワイヤー取り出し口を水栓方向に向けてください。
- 排水栓本体とクランク管を袋ナットにて締め付けてください。
- 排水栓を取り付けてください。

### 注意



**手で袋ナットを締めたあと、スパナなどの工具で半回転程度締め付ける**

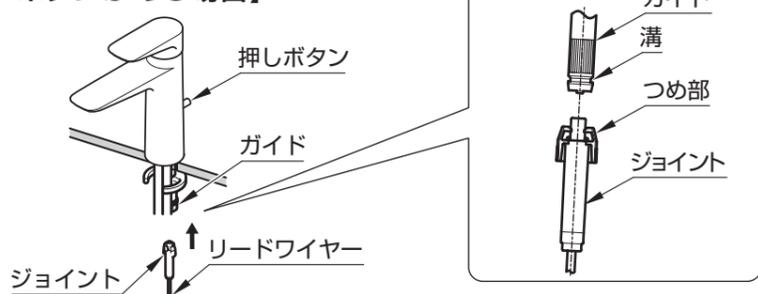
必ず実行 水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。



## ② 水栓本体とジョイントの取り付け

- ジョイント側のつめ部がガイドの溝に入るまで差し込んでください。リードワイヤーは最小曲げR20以上確保してください。

【水栓の後ろにボタンがある場合】



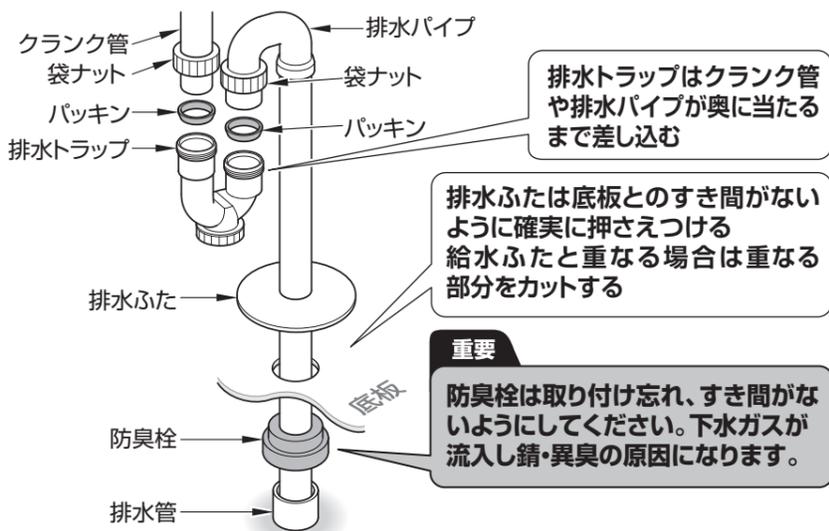
### 注意

**ジョイント部を2~3回引っ張り、抜けないことを確認する**  
ただし、リードワイヤーを持って引っ張らない

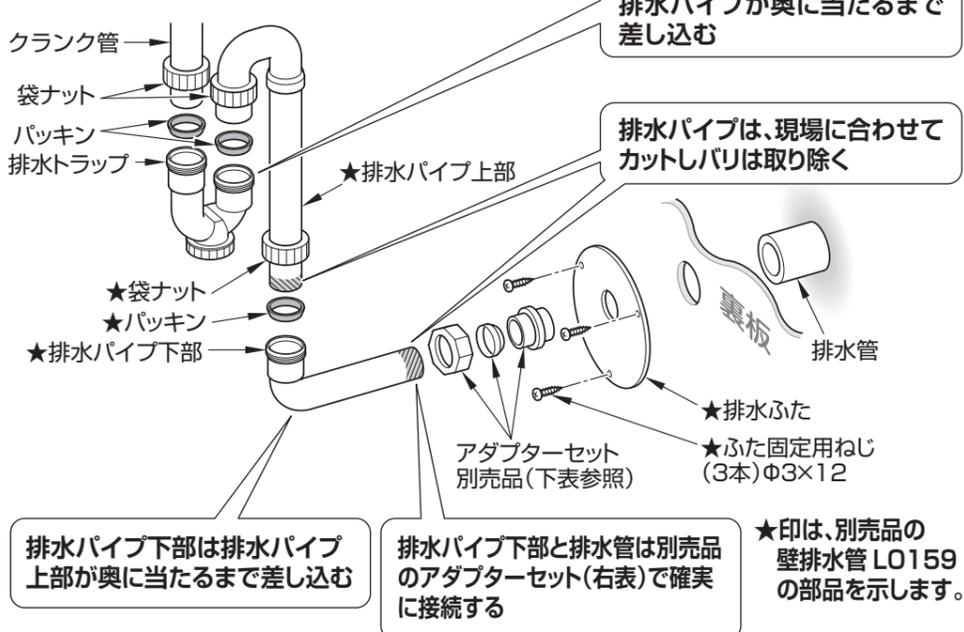
必ず実行 ジョイント部が外れますと、水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

- 水栓の押しボタンを2~3度操作して、排水栓が正常に開閉するか確認してください。

【床排水の場合】



【壁排水の場合】

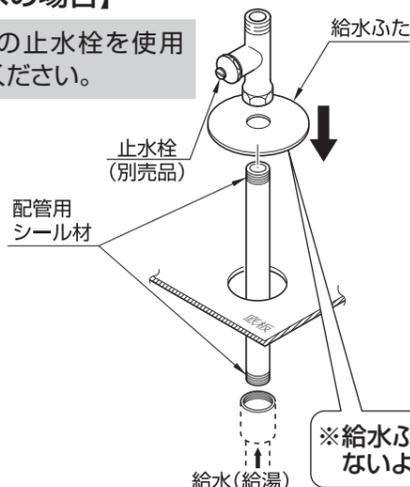


## ③ 止水栓の取り付け

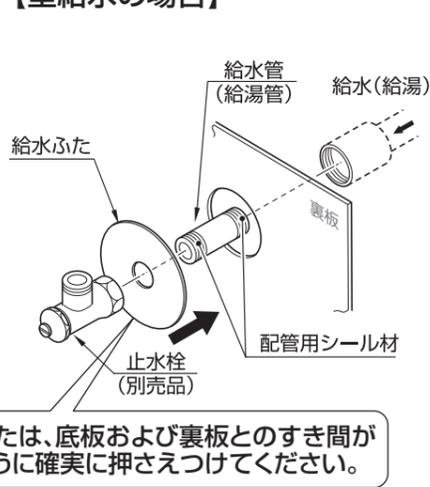
- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書をご参照ください。

【床給水の場合】

※指定の止水栓を使用してください。



【壁給水の場合】



## ④ 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。

## ⑤ 排水トラップの取り付け

### 注意

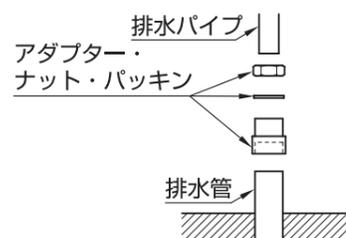
- 排水トラップの矢印マークと排水の流れる方向を合わせる
- パッキンの方向に注意する
- パッキンは下図の位置に取り付ける



- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接続してください。

### アダプター接続の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1 1/4
T1122J(塩ビ管用)	30用
L048(塩ビ管用)	40用
L049(塩ビ管用)	50用



※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。  
※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

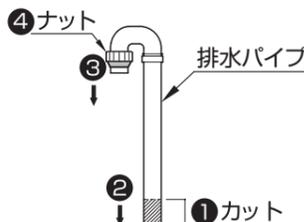
### 注意

**接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する**  
片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

必ず実行

### 〈T1122J使用時の取り付け手順〉

- 排水パイプを現場に合わせてカットしてください。(右図参照)
- カット側をアダプターに差し込んでください。
- 排水パイプ上部を排水トラップに奥に当たるまで差し込んでください。
- ナットを手で確実に締め付けてください。



### 注意

**工具は使用しない**  
水漏れの原因になります。

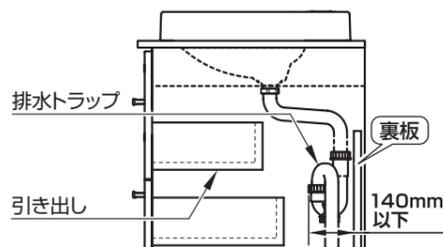
禁止

- 排水トラップを設置したあとは、下図の範囲に納まっているか確認をしてください。

### 注意

**排水トラップを右図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する**  
水漏れの原因になります。

必ず実行



## 7) 取り付け手順(つづき)

### 16 底板の固定

- 底板を底板化粧用ねじ(φ3.5×12)で固定してください。



### 8) 壁やトールキャビネットおよび洗面器まわりの処理方法

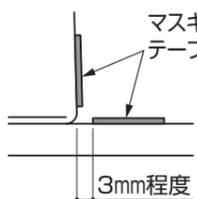
※バックパネルなど、シールパッキンの付いた部材をカウンターの上にのせる場合、正面部はシリコン系シール材の処理は不要です。

- カウンターと壁あるいは隣接キャビネットおよび洗面器まわりに、防カビ性のシリコン系シール材を充てんしてください。
- ※推奨カラーは下表を参考にしてください。

カウンター色	シリコン系シール材推奨色
ホワイト系	ホワイト
ベージュ系	ベージュもしくはアイボリー
グレー系	グレー
ブラウン系	ブラック

シリコン系シール材(現場調達)  
壁またはトールキャビネット

※マスキングテープを使用し、きれいに仕上げてください。幅が太くならないように均等にマスキングテープを貼ってください。



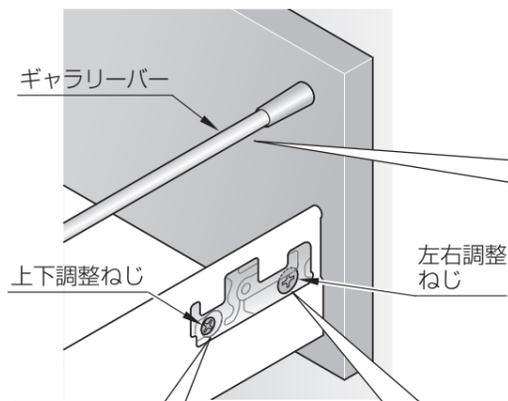
シリコン系シール材(現場調達)

### 注意

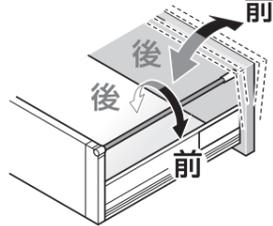
- 必ず実行 **シリコン系シール材(メジシール)を充てんする**  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

〈2段引き出し前板の調整のしかた〉

引き出し底板裏面にアングルが付いているので必ずねじをゆるめてください。



〈前後のずれ〉  
ギャラリーバーで調整する。  
※ギャラリーバーを回すと、前板が前後に動きます。



#### 1 キャップを取り外す

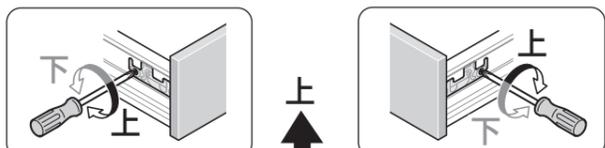


#### 2 上下・左右調整ねじで調整する

※片側だけの調整では動きません。  
必ず両側のねじで調整を行ってください。

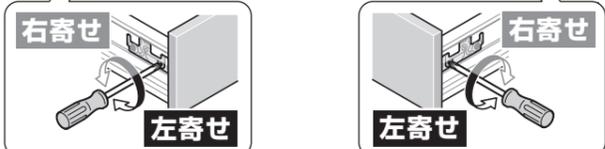
〈上下のずれ〉

上下調整ねじで調整する



〈左右のずれ〉

左右調整ねじで調整する



## 9) 取り付け完了後の確認と清掃

※扉引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。

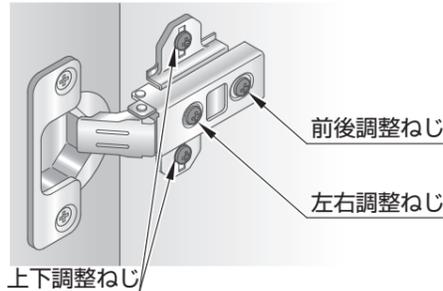
【調整要領】

### 注意

調整後、固定ねじをしっかりと締め付けてゆるみがないことを確認する  
必ず実行 扉が外れて、けがをするおそれがあります。

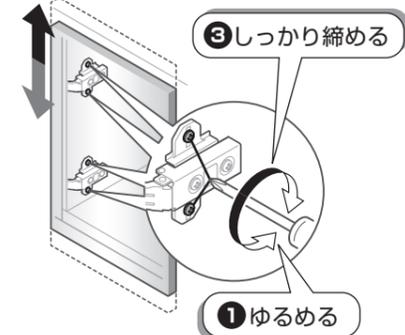
電動ドライバー禁止  
部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

〈扉の丁番調整のしかた〉



〈上下の調整〉

2 扉を動かす

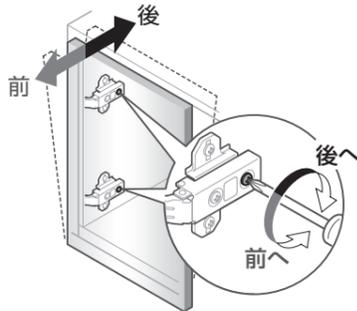


3 しっかり締める

1 ゆるめる

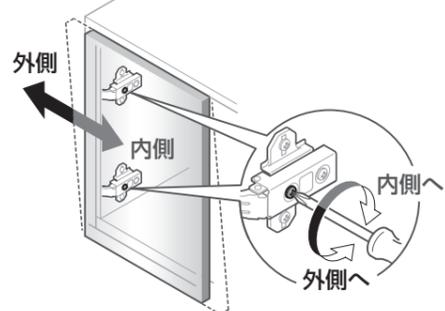
〈前後の調整〉

左扉も右扉も右回しで後へ左回しで前へ動きます。



〈左右の調整〉

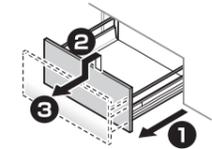
左扉も右扉も右回しで内側へ左回しで外側へ動きます。



【着脱要領】

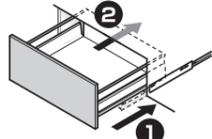
〈2段引き出しの取り外しかた〉

- 引き出しを完全に引き出す
- 引き出しの手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす
- そのまま引き抜く



〈2段引き出しの取り付けかた〉

- レールを奥まで押し込む
- 引き出しをレールの上に置き、そのまま押し込む  
※「カチャ」と音がして、ロックされます。



### 注意

取り付け後必ず2~3回開閉して確実に取り付けられているか確認する  
必ず実行 確実に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

ギャラリーバー部分を持たない  
禁止 ギャラリーバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。
- 2段引き出しタイプの場合、給水・給湯ホースと引き出しが干渉しないことを確認してください。(引き出しが閉まらない、給水・給湯ホースが傷つく原因になります。)干渉する場合は、ホースのたるみがないように調整してください。

## 10) 寒冷地タイプの水抜き

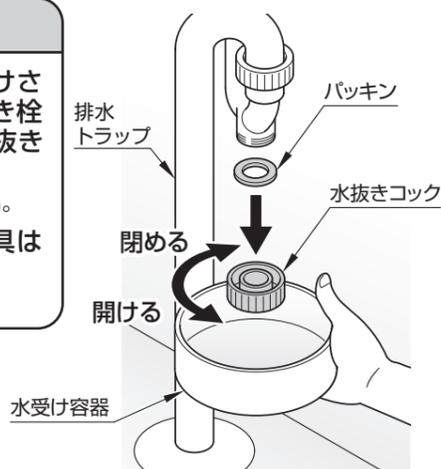
寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

### ⚠ 注意



必ず実行

- ・凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをする  
お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- ・ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない  
水漏れの原因になります。



### 【水栓の水抜き】

水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

### 【排水トラップの水抜き】

- ① 水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。